

ご家庭にもありませんか？

残薬問題

病院や薬局からもらう薬が飲み忘れ等で残ってしまう、
いわゆる残薬はあなたの自宅にもありませんか？
その金額は年間約 **500 億円**※にもなると言われ社会問題
の一つとなっています。

※厚生労働省資料より



出典：厚生労働省資料

なぜ残薬が発生するの？

【理由】

- ・ 飲み忘れてしまう。
- ・ 副作用の不安や自己判断で薬を減らす、中止してしまう。
- ・ 複数の医療機関で同じ薬をもらってしまう。



【原因】

- ・ 服用時間が生活習慣にあっていない。
- ・ 薬の必要性についてしっかりと理解できていない。
- ・ 薬の管理ができていない。



何の薬かも、使用期限もわからない。
どうしたら・・・

薬局に相談しましょう！

薬局では残薬の解消に向け、様々な取組を行っています。

○残薬を薬局へ持って来てもらうことで残薬数を把握し、医師へ処方日数の調整を提案します。

○残薬の発生状況についてお話を聞き、医師へ患者の生活習慣に合った用法への変更などを提案します。

○服用が困難な薬について、錠剤から粉薬への変更など飲み易い剤形への変更を医師へ提案します。

○いくつもある薬を1回服用分ごとに一包化して調剤します。
など・・・

残薬がなくなれば・・・

お薬代を節約することができるだけでなく、服用すべき薬が整理され、飲み忘れや飲み間違いを防ぐことができます。
自宅にどうすればいいかわからない残薬があれば、一度薬局へ持参し、相談してみてください。

堺市保健所 環境薬務課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3-1 電話:072-222-9940/FAX:072-222-9876